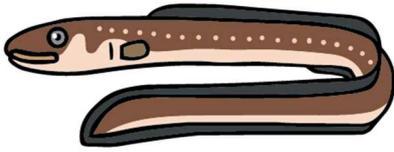


マアナゴ



- ・ 東京湾ではあなご筒，小型機船底びき網で，銚子・九十九里では小型機船底びき網，延縄で漁獲される。
- ・ 産卵場は，沖ノ鳥島南方の九州-パラオ海嶺上で，葉形仔魚（通称のれぞれ）が日本沿岸に来遊する。

資源評価

東京湾

水準：低位



動向：減少



銚子・九十九里

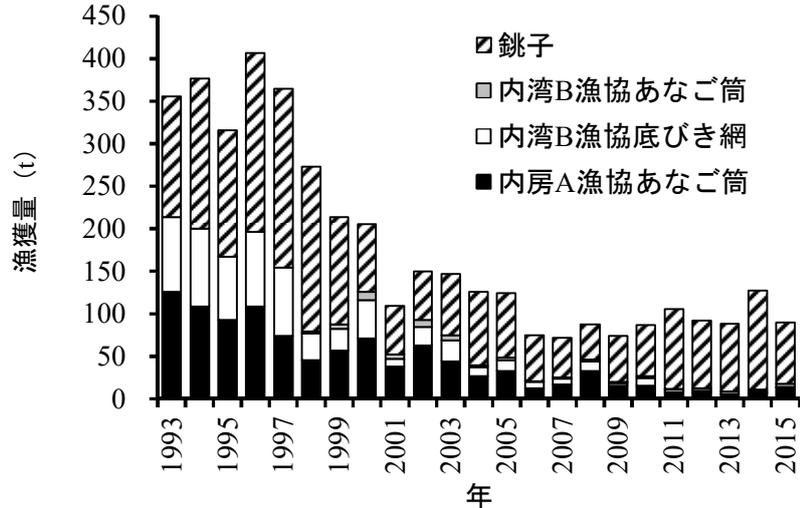
水準：中位



動向：横ばい



漁獲量

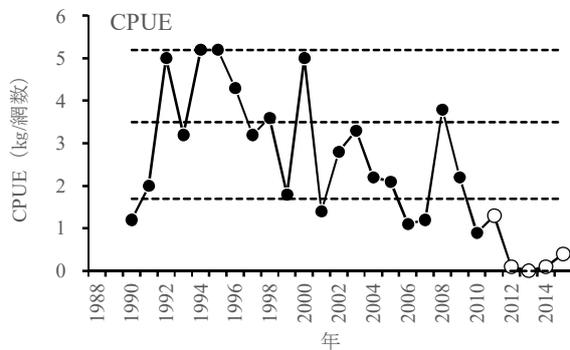


県内主要3漁協のマアナゴ漁獲量 (千葉県調べ)

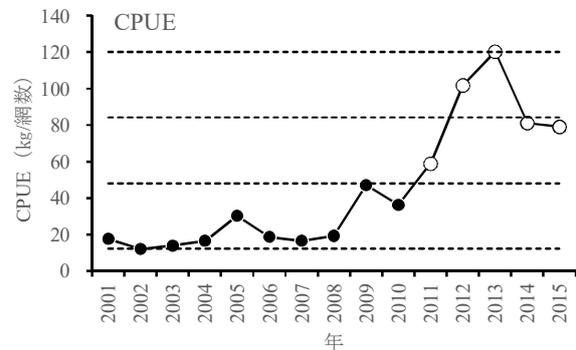
千葉県内の主要漁協におけるマアナゴの漁獲量は，1990年代以降減少傾向で，近年は東京湾，内房は極めて低い水準であるのに対して，銚子・九十九里ではやや増加傾向である。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は，底びき網の操業日誌から集計した CPUE (1 網当たりの漁獲量) で判断した。
- ・ 2015 年の資源水準は東京湾では低位，最近 5 年間の資源動向は減少傾向，銚子・九十九里では中位，横ばい傾向。



東京湾における底びき網の標本漁船によるマアナゴの1網当たり漁獲量 (kg/網; CPUE) の経年変化



銚子地区における沖合底びき網の標本漁船によるマアナゴの1網当たり漁獲量 (kg/網; CPUE) の経年変化

資源管理の取り組み

東京湾において，底びき網では休漁日の設定，操業時間の制限及び漁具の制限，あなご筒では水抜き穴の拡大による小型魚の保護など，銚子・九十九里において，底びき網の改良漁具導入による小型魚の保護など漁業者による自主的な資源管理が行われている。